

静岡県水産技術研究所展示室 整備計画

1 展示室の目的

静岡県水産技術研究所展示室は、一般県民に対して、以下の行政サービスを提供することを目的とする。

- ・ 本県における水産業の概要に関する県民理解の促進
- ・ 本県における、水産業を取り巻く自然環境の状況に関する県民理解の促進
- ・ 県民への学習機会の提供
- ・ 地域の賑わいづくりへの貢献
- ・ 水産技術研究所の研究成果等の活動や県の水産施策の県民、漁業・水産業者へのPR

2 展示室の内容（展示室整備業務委託の範囲外の内容も含む）

(1) 全体

- ・ 博物館（資料展示）と水族館（生体展示）の形態を併せ持つ施設とする。
- ・ 全体を「とるゾーン（漁業・水産資源）」「おさかなゾーン（水族展示）」「つくるゾーン（水産加工）」「たべるゾーン（普及）」に分けたゾーニング展示とする。
- ・ 水産業に係る社会科教育開始に合わせて、主対象年齢は小学校高学年以上とするが、幼児も楽しめる施設とする。
- ・ 展示物への誘導において、入場から海中体験しているようなイメージの演出とする。
- ・ 職員による展示情報の更新が容易なシステムとする。
- ・ 節電・省エネルギーに配慮した施設とする。
- ・ 通常時は係員不在のため、自動で来場者に対応する施設とする。
- ・ ユニバーサルデザインに配慮した施設とする。

(2) 展示物

- ・ 本県の海と水産業の概要を紹介するための、大型のプロジェクションマッピング地形ジオラマ（中核展示物）を設置する。
- △ 背面透過型の背景スクリーンを備えた、静岡県の身近な魚類や海洋環境を展示する30トン水槽（中核展示物、別途建築工事で整備）と、ウミガメを展示するカメ池（別途建築工事で整備）を設置する。
- ・ 30トン水槽の背景スクリーンに、海中風景動画等を投影する設備を設置する。
- ・ 駿河湾の深海魚を展示する3トン水槽2台と、沿岸の水産重要魚種を展示する1トン水槽3台を設置する。
- ・ ゾーンごとのテーマに沿って、本県の水産業や水産研究の成果を紹介するパネルや模型等の展示物を設置する。
- ・ 既存展示室の展示物のうち、必要なものを移設する。
- △ 隣接する加工実験室が見学できる、観覧窓を設置する（別途建築工事で整備）。

(3) 付帯設備等

- ・ 椅子等を備えた休憩エリアを設ける。
- ・ 来場者数を把握できる来場者カウンター等の設備を設置する。

※ △の項目は業務委託の範囲外で、別途建築工事で整備する